

よこひな通信

10月号 令和4年10月26日発行



ちい あき
「小さい秋、みつけた！」

ふくこうちょう おおいそ みほ
副校長 大磯 美保

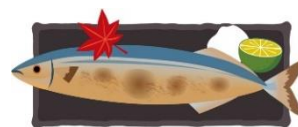
せんじつ ねんせい きょうしつ
先日、3年生の教室をのぞいたら、秋の俳句作りに取り組んでいました。

もみじ、落ち葉、やきいも、さんま、まつたけ、ハロウィン……。

「5・7・5」の文字の中に、どのように秋の季語を取り入れて、思いを

つた えようかと、試行錯誤する表情は誰もが真剣そのもの。完成後に、みんなの前で発表した作品は、どれもとても素晴らしくて、温かな気持ちになりました。

じゅぎょう では、甘い香りの金木犀や、風に揺れるコスモス、コロコロとしたどんぐりなど、学校の周りで見つけられる小さな秋が紹介されていました。



ことし ざんしょ なが つづ おも いっき すず
今年は残暑が長く続いたと思ったら、一気に涼しくなりました。

ねんねん あき かん しき みじか おも
年々、秋を感じる時期が短くなっているように思います。

だからこそ、貴重な秋をしっかりと味わいたいものです。

す さわ やかな あき そら あか きいろ いろど やま まち きぎ
澄みきった爽やかな秋の空。赤や黄色に彩られた山や、街の木々。

さわさわと秋風になびくススキ。秋の夜にリンリンと響く虫の声。

こころ お っ かせるしっとりとしたあきさめ
心を落ち着かせるしっとりとした秋雨。



みなさんが想う秋は、どのようなイメージですか？

あわただしい毎日ですが、空を見上げて、ちょっと深呼吸。

そっと耳を澄ませてみたら、新たな発見があるかもしれません。

しょくよく あき スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋……。

あき なに 何をするにも気持ちよく取り組める季節です。

あき みかく たの 秋の味覚を楽しみながら、じっくりと好きなことに打ち込める。

そんな贅沢な時間を過ごしたいですね。

